

基本目標 2～5 の見方

基本目標 3 豊かな自然と人が共生する社会の形成

関連する SDGs の目標



(1) 現状と課題

市や国内外の現状、課題等を整理

本市は、神宮林をはじめとした緑深い山々、清流宮川、豊かな自然風土に恵まれ、伊勢志摩国立公園の玄関口として魅力ある。しかし、市の市街地中心部を流れる勢田川は、三重県が公表している「公共用水域及び地下水の水質測定結果」において、「河川の汚れが目立つ水域（ワースト5）」にランクインしており、近年改善傾向が見られるものの未処理の生活排水等の影響により改善が…

基本目標を実現することで達成される SDGs の目標

(2) 市の施策の方向性

基本目標を実現するための市の施策の方向性、施策を整理

施策の方向性	施策
(1) 自然環境・公益的機能の保全	①水環境の保全 ②森林環境の保全 ③農地環境の保全
(2) 自然との共生	①生物多様性の保全 ②自然とのふれあいの増進

(3) 市の施策の内容

上記施策に対する主な取組について整理

施策の方向性 (1) 自然環境・公益的機能の保全

施策	主な取組
①水環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 市内公共用水域（河川・海域）の水質調査の実施 堤防法面の除草等、河川の良い維持管理 流域関連公共下水道事業の整備推進 合併処理浄化槽の普及促進
②森林環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 森林がもつ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるための間伐などの適正管理支援 生活環境を守る海岸沿いの防風保安林など公益的機能が高い森林を保全するための適切かつ効率的な害虫防除の推進
③農地環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 担い手農家への農地集積等による遊休農地の解消 景観植物の植栽等による遊休農地の利用促進 地産地消の推進 市内産農産物のブランド化に向けた取組の支援

施策の方向性（2） 自然との共生

施策	主な取組
①生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系に配慮した河川等の整備 干潟の耕うん等による機能回復 外来生物による被害予防に関する情報提供・啓発 動植物の生息・生育状況に関する現況把握 生物多様性保全に関する学習機会等の提供
②自然とのふれあいの増進	<ul style="list-style-type: none"> 水生生物による水質調査等の自然とふれあえる野外環境学習の開催 自然とふれあえる護岸・親水公園・里山等を整備・充実 勢田川七夕大そうじ等の清掃・美化活動の開催 伊勢志摩国立公園の観光資源の活用

（4）市民・事業者に期待する役割

施策全体の基本目標を実現するための市民・事業者に期待する役割を整理

各主体の役割	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の生活において <ul style="list-style-type: none"> 食器等に付着した油汚れは拭き取ってから洗うなど、水を汚さないよう心がける 生け垣や家庭菜園等、身近なみどりを育てる 街路樹や公園のみどりを大切にする 地域の緑化活動に参加する 食材などの地産地消を心がける 生きものを大切にする 外来生物について理解し、外から持ち込んだり地域へ放したりしない 自然観察会への参加等、動植物や身近な自然にふれあう機会をつくる ●建て替えのときなど <ul style="list-style-type: none"> 屋上緑化・壁面緑化を行う 地域の自然環境や生物多様性に配慮した植栽を取り入れる 既存木の保全に配慮する
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の業務において <ul style="list-style-type: none"> 屋上緑化・壁面緑化、生垣設置等、事業所内の身近な緑化を進める 生物多様性に配慮したみどりの保全・創出に努める 地域や行政が行う緑化活動や、みどりの維持管理活動へ参加・協力する 事業所内のみどり空間を開放するなど、地域と一緒に楽しめるみどりづくりを行う 地域の農林水産物の地産地消を図り、地場産業の発展と環境保全に貢献する